

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

術前顔面神経麻痺を呈した聴神経腫瘍手術の後方視的検討

研究計画

研究の背景・目的: 当研究は前診療科長・河野道宏の現勤務先である東京医科大学病院との共同研究です。脳神経外科が取り扱う頭蓋底腫瘍、特に聴神経腫瘍に対する摘出術では、脳神経機能温存と高い腫瘍摘出度の両立が、患者さんの術後生活の質に大きく影響すると考えられるため、これまで手術方法や術後管理について様々な検討を行ってきました。

そこで今回、手術を行う前から顔面神経麻痺を認めていた患者さんを対象として、東京医科大学病院脳神経外科と共同研究を行うことを考案致しました。聴神経腫瘍の患者さんが術前から顔面麻痺を認めていることは珍しく、術前より顔面麻痺を認めている原因や術後の経過などについて未だに明らかになっていない事項が多く、これまで蓄積されてきた術前後の顔面神経麻痺の結果を遡って検討することで、今後手術を受ける患者さんの、顔面機能の温存、摘出率向上、安全な手術の提供などに寄与することを目的とします。

研究の方法

●対象となる方:

2004年6月1日より2020年9月30日の間、東京医科大学病院もしくは東京警察病院で聴神経腫瘍の摘出術を受けた患者さんの中で、術前より顔面神経麻痺を認めた患者さんを対象とします。ただし遺伝的素因を有する神経線維腫症 II 型の患者さんは今回の対象からは外れます。

●**研究期間:** 倫理委員会承認後より研究開始となり、最長3年間で聴神経腫瘍に対して摘出術を受けた患者さんのデータ解析を行います。

●**利用する検体やカルテ情報:** 通常診療で必要であった、術前後の聴力検査、画像検査の解析を行います。新たな検査などは必要ありません。

●**検体や情報の管理:** 患者さんのデータは匿名化した上で、研究を分担するスタッフのみがアクセス可能と致します。またデータ保管は院内規則に則り作業場所、データ保管場所などの管理は厳重に致します(管理責任者: 松島 健)。研究成果の公表に際しては、個人が特定されないことがないように配慮するなど、当院の規定に基づき個人情報保護の徹底に努めます。

研究組織: この研究は東京医科大学病院と東京警察病院の共同研究です。

共同施設研究責任医師: 東京警察病院 脳神経外科 科長 吉野 正紀

研究責任医師: 東京医科大学 脳神経外科分野 助教 松島 健

研究分担医師: 東京医科大学 脳神経外科分野 主任教授 河野 道宏

東京医科大学 脳神経外科分野 講師 中島 伸幸

東京医科大学 脳神経外科分野 助教 一桙 倫生

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。
なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

東京医科大学病院 脳神経外科

電話番号 03-3342-6111 (代表) (内線) 3221

担当医師：松島健